

様 式 Z - 7

平成 2 7 年度科学研究費助成事業 実績報告書 (研究実績報告書)

1. 機関番号

3	2	6	0	4
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 大妻女子大学
3. 研究種目名 基盤研究(B) (一般) 4. 研究期間 平成 2 5 年度 ~ 平成 2 7 年度
5. 課題番号

2	5	2	8	4	1	3	5
---	---	---	---	---	---	---	---
6. 研究課題名 戦時上海におけるメディア (新聞・雑誌) の総合的研究
7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
5 0 3 1 6 9 0 7	イシカワ テルコ	比較文化学部	教授
	石川 照子		

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
0 0 2 9 8 0 4 3	スズキ マサヒサ	一橋大学・大学院言語社会研究科	教授
	鈴木 将久		
1 0 3 0 4 5 6 0	コハマ マサコ	日本大学・文理学部	教授
	小浜 正子		
3 0 3 7 5 3 1 5	シヨウ ゲイケン	徳島大学・大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部 (総科)	教授
	邵 迎建		
6 0 2 2 3 9 2 1	オオハシ タケヒコ	関西学院大学・文学部	教授
	大橋 毅彦		
9 0 1 5 4 7 9 9	タカツナ ヒロフミ	日本大学・通信教育部	教授
	高綱 博文		

9. 研究実績の概要

<p>1. 関連史料の所蔵状況に関する調査及び収集と研究会の開催・・・研究代表者と分担者それぞれの個別の史料調査を、中国をはじめとする海外及び国内で行った。研究会は、2015年4月26日、6月13日、7月18日、2016年3月12日の4回開催し、研究の進捗状況の確認と各自のテーマの報告を行った。</p> <p>2. 国際シンポジウムの開催・・・2015年10月3～4日に奈良大学で、戦時上海の文化・文学活動を研究している、関西の中日文化協会と共催で国際シンポジウム(「戦時上海におけるメディア—文化的ポリティクスの視座から—」)を公開開催した。国内研究者のみならず、中国・上海の3人の研究者(陳祖恩東華大学教授、徐静波復旦大学教授、馬軍上海社会科学院歴史研究所研究員)も招聘して報告を行い、3年にわたる研究を集約すると同時に、併せて今後の研究の方向性についても議論した。</p> <p>3. 論文集と雑誌『アジア遊学』特集号刊行の計画・・・2のシンポジウムの成果が、高綱博文・石川照子・竹松良明・大橋毅彦編『戦時上海のメディア—文化的ポリティクスの視座から—』という論文集として、研文出版から2016年7月に刊行されることが決定しており、3年間の研究の成果を広く世に問う事が期待できる。さらに、論文集だけでは収まり切らない多彩なテーマが、この3年間の研究成果として出現しているという現状を勘案して、雑誌『アジア遊学』に「戦時・上海・グレーゾーン—抵抗と協力のはざままで—」という特集を組み、勉強出版から2016年12月に刊行されることが決定している。なお、同誌に掲載予定の論文に関して、2016年5月7日に「戦時・上海・グレーゾーン—抵抗と協力のはざままで—」というワークショップを公開開催した。</p> <p>4. ホームページの運営・・・国内外で調査・収集した史料のホームページでの公開を通して、情報の共有と発信を行っている。</p>
--

10. キーワード

- (1) 上海 (2) メディア (3) 日中戦争 (4) _____
- (5) _____ (6) _____ (7) _____ (8) _____

(注) ・印刷に当たっては、A4判(縦長)・両面印刷すること。

(1 / 8)